

# Danke Berlin

『ありがとう ベルリン』 2014年7月 No.4  
ドイツ連邦共和国 ベルリン日本人国際学校 多田明寿 (札幌中学校 在籍)

## 2014 FIFA ワールドカップ ブラジル大会 ドイツ優勝！大会中の首都ベルリンの熱狂をレポート



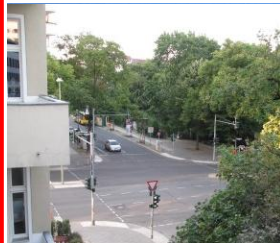
こちらドイツの学校ではドイツの試合の日は、1時間早く学校が終わり次の日は1時間遅く学校が始まります。また大人も子供もドイツ代表ユニホームで、国旗を付けた車が沢山走っていました。そして何ととってもパブリックビューイングの半端ない盛り上がりを見て、ドイツ人の方々に『うらやましい』とさえ感じてしまいました。市内凱旋パレードも50万人が集まったそうです。



## 『この違いは何なんだろう?』そして

上記は優勝直後の新聞です。スポーツ新聞はあっという間に売り切れてしまい、一般紙しか買えません。優勝が決まった瞬間は、街中で花火が上がりました。ところで日本人学校の中にも、こちらのサッカーチームに所属している児童生徒が数人います。口をそろえて言うのが、『日本のように4時間も5時間も練習しません、長くても2時間ぐらいです。走ったりすることも少ないし、コーチはいつも笑顔で優しいです』という声でした。『この違いは何なんだろう?』と、この度のドイツ世界一を目の当たりにして、思わず自分のこれまでのバスケットボール部活指導を振り返ってしまいました……。現地理解教育の一環として、バスケやサッカーだけでなくベルリンに無数にある様々なスポーツクラブを見学してみたいと思います。それにしても、自分が派遣された国が4年に一度のワールドカップで優勝するという「めぐり合わせ」に幸せを感じずにはいられません。こちらでのモチベーションが更に高まりました、これからも頑張ります!

6月の夜10時半、もう一枚の左上は7月の夜8時半のようすです。ベルリンは北緯52度(帯広は42度)に位置しており、夏至の前後はこのように夜11時ぐらゐまで薄明るく、朝は3時をまわると明るくなつてきます。逆に12月や1月は、朝学校へ出勤するまで暗く、7時間目の授業をしている頃には、真っ暗になってしまいます。理科教師としては地学分野で(特に中3理科)、非常に面白い教材となっています。



理科クイズ

さて何時の写真だと思いますか?

## 最後に近況報告です。

日本人学校では1年の流れがわかる分、昨年より見通しを持って仕事ができていると思います。生活面では3月に購入した車で、ドイツのアウトバーン「高速道路」を走る快適さに魅せられています(もちろん安全第一)。日本を離れて1年4か月、たまに「インテアンカレ」が恋しくなることもあります(笑)、本当に住みやすいこの街で充実した毎日です。